太平洋工業グループ調達基本方針

基本的な考え方

当社グループは、グローバルに事業を展開しており、世界の広範囲の仕入先様から、原材料や部品を調達しています。

当社グループは、調達の考え方を「調達基本方針」に明記し、具体的な共有事項を「仕入先サステナビリティガイドライン」として制定しています。

また、サステナビリティ経営の一環として、「責任ある調達」をマテリアリティとして特定し、ＫＰＩを定めて取り組みを進めています。

当社グループは、こうした取り組みを通じて、仕入先様と長期的なパートナーシップを構築し、持続的かつ強靭なサプライチェーンを築いていきます。

＜オープンで公正・公平であり、社会・環境に配慮した調達＞

当社グループは、国内外での取引実績の有無を問わず、取引の機会を提供し、オープンで公平･公正な姿勢で調達活動を進めてまいります。

仕入先様の選定にあたっては、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供するため、品質･価格･納期・労働課題・技術開発力・継続的な改善に加え、人権・環境保全・倫理・コンプライアンス等のサステナビリティ課題に取り組む姿勢･体制等を総合的に勘案しています。

＜パートナーシップ＞

当社グループは、仕入先様との相互信頼に基づき、長期的な共存・共栄の実現をめざします。また仕入先様とのコミュニケーションを密にし、事業の目標･課題を共有化するとともに、成果をシェアし、一体となった競争力の強化を図ります。

＜環境＞

当社グループは、「グリーン調達」をめざして、環境マネジメントシステムを構築し、製品のライフサイクルを考慮した環境負荷の少ない部品・資材等の調達を積極的に推進します。そしてサプライチェーン全体で、温室効果ガス・廃棄物・水使用量の削減、汚染防止、環境負荷物質の低減に取り組みます。

＜責任ある調達＞

当社グループは、人権、環境等の社会問題を引き起こす可能性のある原材料（例：紛争鉱物・コバルト・天然ゴム等）の使用による地域への影響に配慮し調達に取り組みます。

＜良き企業市民をめざした現地化推進＞

当社グループは、現地生産とともに現地調達に取り組み、活動拠点において良き企業市民をめざして、地域社会との調和を図った貢献活動を積極的に展開します。

＜法令遵守＞

当社グループは、商取引に関する諸法の精神を尊重し、法令を遵守して調達活動を行います。

＜事業継続＞

当社グループは、材料不足・人財難・災害・感染症等、サプライチェーンの事業継続に対する脅威に対し、供給責任を果たせるよう、最善を尽くします。